

# リリースノート - Ki Pro Ultra Plus v1.0

## Release firmware v1.0 for Ki Pro Ultra Plus

### 全般

---

このファームウェアは、Ki Pro Ultra Plus 出荷時にあらかじめインストールされている初回リリースバージョンになります。機能および設定のガイドラインについては、インストレーション & オペレーションガイド (ユーザーマニュアル) を参照してください。最新版のドキュメントは、[www.aja.com](http://www.aja.com) のサポートページでご確認いただけます。

### 使用上の注意

---

#### マルチチャンネルモード

Ki Pro Ultra Plus は、AJA 初のマルチチャンネル収録製品であり、これまでの Ki Pro 製品でのシングルチャンネル収録とは明確に運用上の違いがあります。マニュアル v1.0 には下記の事項についてより詳細の記述がございます。

Ki Pro Ultra Plus でのマルチチャンネルモード利用時の理解を深めるために、下記注意事項および付属のマニュアルをお使いください。

- ・マルチチャンネルモードでは、Ki Pro Ultra Plus および接続されている全てのソースがゲンロック/外部同期されている必要があります。
- ・マルチチャンネルモードでは、接続されている全ての入力信号は、同じフレームサイズ、かつ同じフレームレートである必要があります。例：全て 1080i 59.94、または、全て 720p 50
- ・マルチチャンネルモードでは、ProRes HD 収録にのみ対応しています。
- ・選択している ProRes コーデックプロファイルに応じて、インプットごとのオーディオチャンネル数は制限されます。
- ・マルチチャンネルモードでは、インプットごとに別々の ProRes プロファイルを選択することが可能です。
- ・マルチチャンネルモードでは、チャンネル数、フレームサイズ、フレームレートおよびコーデックプロファイルに関わらず、ロールオーバー (リレー収録) および連続収録が可能です。

- ・ DNxHD ファイルの再生は、マルチチャンネルモードでは対応していません。

## HDMI 2.0

- ・ HDMI 2.0 を使用して収録および再生を行う場合、認証済みのプレミアム HDMI 2.0 ケーブルを使用するようにしてください。他のタイプの HDMI ケーブルでは、収録および再生がうまくいかない可能性があります。

## Pak Media

新しいバージョンの Pak256 (R1) \* および Pak512(R1) 、加えて既存の Pak1000 メディアは、ProRes 422 (HQ) では 4K/UltraHD 50、59.94、60 までを含む、すべてのフォーマットおよびフレームレートの収録に対応しています。

既存の Pak256 (R0) および Pak512 (R0) メディアは若干処理能力が低く、ProRes 422 では 4K/UltraHD 30 まで収録が可能です。

注：バージョン数は、裏面のラベル記載の Pak Media 名にてご確認ください。

## ファームウェア再インストール時の注意点

---

- ・ ファームウェア v1.0 では再インストールの必要はございませんが、以下の事項は今後のファームウェア更新時に向けての予備的な案内になります。
- ・ ファームウェアのアップデートを行う前に、"CONFIG" メニューから "Factory Reset" で工場出荷状態にリセットすることをお勧めします。
- ・ ファームウェアのアップデートを行った場合、Web ブラウザ (Safari、Firefox など) と Ki Pro Ultra Plus との接続が解除される場合があります。Web ブラウザをリロードすることで、Web ユーザーインターフェースに再接続できるようになります。
- ・ Ki Pro Ultra Plus で収録中に、ファームウェアのアップデートを行わないでください。ファームウェアのアップデートを実行する前には、Ki Pro Ultra Plus が停止状態にあることを確認してください。